



秋季全国火災予防運動がはじまります

11月9日から15日までの7日間、「秋季全国火災予防運動」が実施されます。
秋から冬にかけて空気が乾燥し、火災が発生しやすくなります。この運動に合わせて、予防の意識を高め、火災の発生を防止するよう心がけましょう。



火の用心の7つのポイント



1. 家の周りに燃えやすいものを置かない
2. 寝タバコやタバコの投げ捨てをしない
3. 揚げ物をする時は、その場を離れない
4. 風が強い時は、たき火をしない
5. 子供にはマッチ・ライターで遊ばせない
6. 電気器具は正しく使い、たこ足配線をしない
7. ストープの周りに燃えやすいものを置かない

○平成28年度 全国統一防火標語○

「消しましょう その火その時 その場所で」

119番の日

11月9日は「119番の日」です。昭和62年に、自治省（現在の総務省）消防庁が制定しました。

119番にダイヤルした時、実際に災害等に見舞われていて気が動転し、落ち着いて通報ができなくなってしまうことがあります。また、慌てて一方的に話すと正確に伝わらず、時間もかかります。通信指令員が必要事項を問いかけてくれるので、一方的に話そうとせず、落ち着いて、聞かれたことについて正確に答えていくのが良い方法です。

また自分の身に危険が迫っている場合は、避難等を優先し、自身の安全が確保できてから通報してください。



【119番の歴史】

大正6年4月1日に、電話による火災通報が制度化されました。当時はまだ電話番号がなかったため、電話交換手に「火事だ」と伝え、消防に繋いでもらう必要がありました。

大正15年にダイヤル式電話が登場し、消防への緊急通報用として、「112番」が定められました。しかし、かけ間違いが多く発生したため、昭和2年に、当時使用されていなかった「119番」が、新たな緊急電話番号として割り当てられました。



今月の耳より情報を募集します

12月号の情報を大募集!!

12月号のテーマは、「道の駅常陸大宮かわプラザを楽しむ」です。あなたの道の駅の楽しみ方を教えてください。11月21日（月）までに、郵便またはファックス、Eメールでお送りください。

【問い合わせ】 政策審議室 秘書広聴課
☎52-1111（内線312）
〒319-2292 常陸大宮市中富町3135-6
Eメールアドレス
→ hishokou@city.hitachiomiya.lg.jp

QRコードはこちら→

